

はじめに

ガザ地区のへのイスラエルの一方的戦闘は、国連の勧告などどこ吹く風。世界の警察を名乗るアメリカも、人道支援はすれどもイスラエル支援の姿勢は変わらないという、訳の分からなさ。ウクライナ情勢も相変わらずで、先が見通せない状況は変わらない。我が日本国は何する者か？裏金疑惑で壊滅的打撃を受けたはずの自民党は、今後の政策活動費の在り方に関してもほとんど考え方を变える気はないようだ。他人事ながら、それで本当にだいじょうぶ？と、つい思ってしまう。一方、4万円の減税はありがたいが、自治体、会社等の会計担当者は、あまりにも複雑な差し引きシステムにとんでもない苦勞を強いられるようである。



第2鹿角沢・中ノ萱礫岩

1. 5月25日（土）室内作業まとめ

<参加>保科、鈴木、松岡、力田、松井

<内容>

AM 第121回学習会：Lowe1982

- ・保科さん担当つづき：「イントロダクション」「流れの種類と堆積機構」
- ・松井担当：堆積モデル「混濁流」 * 「低密度混濁流」以降は次回に実施

PM 中ノ萱礫岩の検討

- ・特に第2鹿角沢のユニット区分（今回は本流までおこなう）。
- ・本流出会いまで走向沿いで、ユニット境界が連続する（中ノ萱礫岩と宮室層）。
- ・第1鹿角沢の1～2ユニット：50m厚で、薄い。
- ・第2鹿角沢の1つのユニット（下部T₁、上部T₂）と本流の土石流ユニットA、B、Cの対比
→T₂がA、B、T₁がCに相当する!？」（位置的につないだ場合）

→とすると、層序的に上下関係が逆になってしまう(◎ここが重要ポイント)→解明のヒントに！

2. 今後の予定

7月06日（土）川越高校 10:00集合、昼食持参

- ①学習会：松井担当の残り+松岡さん担当箇所
- ②夏の陣：日程と内容の詳細検討（平社さんに問う内容等）
 - ・南牧川本流土石流unit（チャンネル堆積物？）と第1・2鹿角沢unitの関係

8/5（月）～7（水）”夏の陣”予定 *平社さんを招き、現地で堆積ユニットを学習
上記、宮室：南牧川本流と第2鹿角沢のユニット対比

3. E p i 騒動

本来、室内・日帰りの場合は掲載ナシが原則であるが、そこは事務局長H科さん。ちゃんと情報提供をいただきました。実は、かつての城郭内に建っている川越高校。近道をしようなどと思うと、思わぬところに一方通行、見えにくい信号などがある。その信号に出くわしたH科さん。よく見ないで左折。悪く言えば信号無視。待ち構えていた川越署のパトカーにあっけなくお縄。遅刻をするとみんなに迷惑がかかると思い、素直に罰金を承諾したという。さすが事務局長！罰金九千円（両）役者！面目ない！